



平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年3月10日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の業績(平成25年5月1日～平成26年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	22,349	2.0	491	△23.4	514	△27.1	326	△21.3
25年4月期第3四半期	21,909	2.1	641	△31.9	704	△46.3	414	△43.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	67.98	—
25年4月期第3四半期	86.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第3四半期	33,242	9,930	29.9
25年4月期	23,921	9,666	40.4

(参考)自己資本 26年4月期第3四半期 9,930百万円 25年4月期 9,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,200	5.4	1,000	158.2	1,000	122.2	610	240.6	126.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期3Q	5,075,500 株	25年4月期	5,075,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年4月期3Q	271,145 株	25年4月期	271,022 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期3Q	4,804,420 株	25年4月期3Q	4,804,546 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	7
(1) 偶発債務	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成25年5月1日から平成26年1月31日まで)におけるわが国経済は、政府による経済政策等を背景とした円安及び株高が進行し、個人消費や雇用情勢に持ち直しの動きが見られたものの、エネルギーコストの上昇や海外景気の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻く市場環境も、高額商品などの一部に消費拡大の兆しが見られたものの、今後実施される消費税増税等を背景とした消費者の節約志向による慎重な購買姿勢の継続に加え、エネルギーコストの上昇等が懸念される状況が続いております。

このような中、当社は、安全・安心かつ美味しさの追求に重点をおいた包装餅及び包装米飯の適正価格での健全な販売及び製品の安定供給に努めることを基本に、販売活動を行ってまいりました。

包装餅製品では、お客様の嗜好の変化に対応した3つの新製品、①シニア層のお客様からいただいた「切り餅50gは大きい」とのご意見から、重量・厚さを20%カットした「サトウの切り餅 こぶりにしました。」②若年層を中心とした幅広い年代に向け新たな餅の食べ方の提案である、スティック形状の切り餅「サトウの切り餅 いっぼん」③本当に美味しいお餅を食べたい方への最高級切り餅の提案として、厳選した良質米だけを使用し、餅を搗くのに最もよい環境を整え独自の新製法により製造した「サトウの切り餅 至高の餅(新潟県魚沼産こがねもち・滋賀県産羽二重糯)」を、平成25年9月より全国発売いたしました。また、当社は環境意識の高まりを受け、「やさしい鏡餅」発売以来、鏡餅装飾の簡素化に努めてまいりましたが、当期は新たにお客様の「鏡餅の容器が、硬くかさばり、捨てづらい」とのご意見を受け、当社従来製品に比べ容器重量を約3分の1削減、CO2排出量約25%削減、手で簡単につぶしたり、ちぎって小さくでき捨てる時にかさばらない容器として、資材メーカーと共同で開発したPSP容器(発泡スチロールを素材とした容器)を「小飾り鏡餅」に採用いたしました。

また、今年がサトウの切り餅シングルパックの発売から30周年にあたるため、それを記念して、同じく発売30年を迎えた「花王バブ」のギフトセットが当たる「サトウの切り餅シングルパック誕生30周年記念キャンペーン」を実施いたしました。

さらに、お餅の食習慣への新たな提案として、お餅を使って手軽に調理できる和・洋・中華風からスイーツまでの新しい「餅レシピ」を当社ホームページのリニューアルに合わせ刷新するとともに、料理研究家の有坂翔太氏に監修いただいた餅の簡単・手軽な「朝食レシピ」の掲載等、年末及び翌期に向けた市場の活性化に取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期累計期間における包装餅製品の売上高は114億52百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

包装米飯製品では、主要な購買層であるシルバー世代のお客様から「パックご飯の蓋が開けづらい」とのご意見を多くいただいたことから、パックご飯の開封性と密封性の両立を実現した包装資材である「マジックトップ」への切り替えを行い、平成25年10月に全ラインに導入が完了いたしました。

また、「玄関 OPEN RICE of サトウ♪」の新しいテレビCMの全国放映や、良質米産地との共同企画を前年に引き続き実施する等販促活動に努めてまいりました。また、発売以来製品に産地銘柄名を明確に表示していることがお客様の安全・安心意識にマッチし、堅調に推移いたしました。その結果、当第3四半期累計期間における包装米飯製品の売上高は108億88百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高はその他製品8百万円(前年同期比3.4%減)を加え、223億49百万円(同2.0%増)となりました。

利益面につきましては、電力費・ガス料・減価償却費等の製造コストが増加したものの、売上高の増加にともない売上総利益は増加いたしました。また、販売促進費等が増加したことから、営業利益は4億91百万円(前年同期営業利益6億41百万円)、経常利益は5億14百万円(同経常利益7億4百万円)、四半期純利益は3億26百万円(同四半期純利益4億14百万円)となりました。

なお、当社は主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期会計期間の売上高及び利益が他の四半期会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は221億53百万円となり、前事業年度末に比較し93億28百万円増加いたしました。

これは、商品及び製品(前事業年度末比2億93百万円減)、仕掛品(同1億6百万円減)並びに未収還付法人税等(同2億11百万円減)が減少いたしました。受取手形及び売掛金(同53億23百万円増)並びに原料米の仕入調整による原材料及び貯蔵品(同47億83百万円増)の増加が主な要因となっております。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は110億89百万円となり、前事業年度末に比較し7百万円減少いたしました。

これは、北海道工場及び佐賀工場のE S C O契約にともなうリース資産の増加による有形固定資産のその他(前事業年度末比4億57百万円増)が増加いたしました。減価償却の実施による減少が主な要因となっております。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は185億65百万円となり、前事業年度末に比較し73億32百万円増加いたしました。

これは、運転資金としての短期借入金(前事業年度末比72億50百万円増)の増加が主な要因となっております。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は47億47百万円となり、前事業年度末に比較し17億24百万円増加いたしました。

これは、原料米の仕入調整にともなう決済資金の一部としての長期借入金(前事業年度末比13億23百万円増)の増加、北海道工場及び佐賀工場のE S C O契約にともなうリース負債の増加による固定負債のその他(同4億23百万円増)の増加が主な要因となっております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は99億30百万円となり、前事業年度末に比較し2億63百万円増加いたしました。

これは、四半期純利益による利益剰余金(前事業年度末比2億68百万円増)の増加が主な要因となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の第4四半期会計期間における消費税増税前の需要等を鑑み、平成25年6月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,804,232	1,858,575
受取手形及び売掛金	4,064,151	9,387,482
商品及び製品	1,634,032	1,340,677
仕掛品	299,978	193,063
原材料及び貯蔵品	4,181,882	8,965,639
未収還付法人税等	211,262	—
その他	632,868	416,097
貸倒引当金	△3,700	△8,500
流動資産合計	12,824,707	22,153,036
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,161,447	2,091,894
機械及び装置(純額)	3,845,949	3,545,320
土地	1,935,181	1,935,181
その他(純額)	260,959	718,513
有形固定資産合計	8,203,537	8,290,909
無形固定資産	14,986	11,397
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	1,887,400	1,952,552
その他	1,016,135	859,636
貸倒引当金	△25,210	△25,210
投資その他の資産合計	2,878,325	2,786,979
固定資産合計	11,096,850	11,089,286
資産合計	23,921,558	33,242,322

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644,869	720,126
短期借入金	6,800,000	14,050,000
未払法人税等	2,335	14,530
引当金	284,216	129,678
その他	3,500,861	3,650,731
流動負債合計	11,232,283	18,565,067
固定負債		
長期借入金	2,367,640	3,691,055
退職給付引当金	411,822	397,366
引当金	75,262	67,091
その他	168,363	591,731
固定負債合計	3,023,088	4,747,243
負債合計	14,255,371	23,312,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	8,675,680	8,944,649
自己株式	△305,685	△305,952
株主資本合計	9,419,769	9,688,472
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	246,416	241,539
評価・換算差額等合計	246,416	241,539
純資産合計	9,666,186	9,930,011
負債純資産合計	23,921,558	33,242,322

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	21,909,095	22,349,313
売上原価	14,185,600	14,511,608
売上総利益	7,723,494	7,837,705
販売費及び一般管理費	7,082,448	7,346,529
営業利益	641,046	491,175
営業外収益		
受取利息	498	425
受取配当金	10,294	10,221
受取賃貸料	133,484	126,820
その他	147,821	154,291
営業外収益合計	292,098	291,759
営業外費用		
支払利息	102,754	135,157
賃貸費用	72,458	66,486
その他	52,999	67,093
営業外費用合計	228,213	268,736
経常利益	704,931	514,197
特別利益		
固定資産売却益	29	52
特別利益合計	29	52
特別損失		
投資有価証券評価損	1,176	627
特別損失合計	1,176	627
税引前四半期純利益	703,784	513,622
法人税、住民税及び事業税	3,744	7,181
法人税等調整額	285,209	179,818
法人税等合計	288,953	186,999
四半期純利益	414,830	326,623

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 偶発債務

- ① 仕入取引の担保として差し入れた振出手形は、前事業年度及び当第3四半期会計期間ともに101,000千円であります。
- ② 当社は、越後製菓株式会社(以下、「越後製菓」という。)より、当社が側面に切り込みの入った切り餅を製造・販売する行為が越後製菓の所有する特許権を侵害しているとして、平成24年4月27日付で、1,915,950千円の損害賠償を請求する訴訟を提起されております。
当社といたしましては、越後製菓の請求には理由がないものと考えておりますので、当社の正当性を主張して行く所存です。当該訴訟の最終結果には不確実性があるため、訴訟損失引当金を計上しておりません。